

追伸

中村ケンシ

登場人物

○「校庭にて」

- ・竹原
- ・陽子
- ・小野純

○「児童公園にて」

- ・斎藤
- ・中野
- ・うつ伏せの男
- ・自転車の女

○「病院の近くの公園にて」

- ・真一
- ・実紅
- ・朋子

一、校庭にて

\*「」は、舞台背景のスクリーンに浮かぶ文字とする。横書き。

「あなたの顔が思い出せない」

「あなたに会いたいと思うのだが」

「それは情熱というよりもむしろ好奇心で」

「自分がいったいどうなっているのか」

「確かめたいだけなのだ」

「それから先は何もうかばない」

「想像できない」

「ただ」

「あなた以外の世界はひどくけだるい」

「PS」

「.....」

夕方。喪服姿の3人の人影。

小野 50メートルってどれくらいすっかかね

陽子 50メートル？  
小野 竹先輩、勝負です  
竹原 え？  
小野 走りましょうよ、50メートル  
竹原 今？  
小野 運動不足解消。メタボ予備軍  
竹原 なんてやねん  
小野 陽子先輩、タイム計ってくださいね  
陽子 私？  
小野 付いてないんすか？特殊機能  
陽子 何？  
小野 ストップウォッチ、時計とか携帯とかに  
陽子 ない  
小野 ほな、あれですわ。見てください。ほんで判定してください  
陽子 いや  
小野 なんてなんですか。やってくださいよ  
陽子 話、まとまったやん  
小野 話？  
陽子 竹原君と一緒に走るんやろ  
竹原 言うてへん  
小野 50メートルってどれくらいすつかね  
竹原 走れへんて  
陽子 サッカーゴールくらいかな  
小野 もっとでしょう  
陽子 ほな、ジャンブルジム  
小野 いや、もっと短いですよ  
陽子 けっこうあるで、50メートルって  
小野 昔、長いなあって思ってたでしょ  
陽子 え  
小野 本当は意外と短いんですよ  
陽子 なんて？  
小野 成長したやないですか  
陽子 誰が成長したん？  
小野 いや、だから、背え伸びましたしね。精神的にも少しは  
竹原 ま、確かにな  
小野 子供の時、通った道とか、今通ったら狭いつて感じるよないすか、遊んだ  
空き地とか、鉄棒とか、意外と狭かったり、意外と低かったり  
陽子 小野君、並ぶんいつも一番前やったもんな、あれ中一のとき？  
小野 ずっとですよ、1年から3年までずっと一番前  
陽子 そやったわ

小野 体育館。あっちでしたよね  
竹原 え  
小野 校舎の裏でしょ

竹原は校舎を見る。

竹原 全然、景色ちやうな  
陽子 校舎、建て替えたんでしょ  
竹原 面影なしや  
小野 面影って何ですか  
竹原 昔の・・なんていうねん  
小野 体育館、見に行きませんか？  
竹原 ええわ  
小野 体育館は昔のままらしいっすよ、血と汗と涙もそのまんま  
陽子 血って何？  
小野 鼻血とか。ボールぶつかったときの  
陽子 汚い  
小野 行きましようよ。楽しいっすよ、昔が蘇りますよ  
陽子 入れるん？  
小野 鍵ないときの入り方があったでしょ。朝練のときとか職員室まで鍵取りに行くんめんどくさいから。忘れたんすか、あんな大切なこと  
陽子 勝手に入ってええの？  
小野 OBですから  
陽子 一応、せやけど  
小野 竹先輩、フリースロー、5本勝負  
竹原 ええって  
小野 缶コーヒー賭けましょ  
竹原 なんて勝負やねん  
小野 盛り上がりますやん。(陽子に)ねえ  
竹原 なんて盛り上がらなあかんねん  
小野 久しぶりやから  
竹原 久しぶり？  
小野 久しぶりでしょ？え？二人は久しぶりやないんですか？  
陽子 小野君はいつ帰るん？  
小野 明日の朝です。飛行機で  
陽子 今日の実家？  
小野 そうですね。お金ないんで  
陽子 お母ちゃん、元気してる？  
小野 元気っすよ。カラオケ狂いっすね  
陽子 カラオケ？

小野 カラオケ教室に行つて。年に一回発表会、ステージで熱唱  
陽子 すごいね、歌手やん  
竹原 ステージってどこの？  
小野 お、よもや僕のオカンネタにくいつくとは  
竹原 どうでもええけど  
小野 僕のオカンにくいつくとは  
竹原 それちゃうやろ  
小野 もうこの辺では有名歌手ですから。花束いっばい  
陽子 歌、うまいん？  
小野 いやあ、うまいんか下手なんか、ようわかりませんわ  
陽子 なんて？  
小野 ずっと聞かされてると判断がわからんようになりますわ  
陽子 それ、あるなあ  
竹原 誰が差し入れんの、花束  
小野 その辺は謎にしていますわ  
陽子 男の人？  
小野 本人曰く、ですけど。うちのオカン、八方美人っていうか、愛想がええちゅうか  
陽子 八方美人？  
小野 美人は美人ですけどね、って言うのかな  
陽子 調子いいね  
小野 ホンマですわ  
陽子 小野君のことやで  
小野 僕ですか  
陽子 昔より明るなったんちゃう？  
小野 僕の一体何を知ってるんすか  
陽子 ここ10年くらい知らんけど  
小野 苦労してるんすよ。この辺の白髪がすでに僕の近況を物語ってますわ  
陽子 何？今から語るん？波乱万丈  
小野 僕の転職辺りからダイジェストで2時間  
陽子 2時間はきつい、2分くらいにして  
小野 僕の半生、どんなスピードなんですか  
竹原 純はさ、あれやろ  
小野 なんですか  
竹原 猫、飼うてたやろ  
小野 急に猫話ですか  
竹原 どうやった？  
小野 飼うてましたけど  
竹原 どんな猫やった？  
小野 黒猫ですけど  
竹原 黒猫？

陽子 私、覚えてるわ。抱かせてもうたことある  
小野 え、ホンマですか  
陽子 いつやろ、なんか文化住宅の外の階段やった  
小野 それ前の家ですね  
竹原 どうしてんの？  
小野 え  
竹原 その猫  
小野 今度は猫にくいつきますか  
竹原 いや、だから  
小野 死にましたけど  
竹原 なんて  
小野 あのね、猫の一年って、人に換算したら四年です。二十歳の猫は、八十歳の老人と  
おんなじということですよ  
竹原 そうなんや  
小野 いくらなんでももう死んでますって  
竹原 せやな  
小野 猫と人は、流れる時間がちやうんですわ  
竹原 猫、おったやろ  
小野 だから、死にましたって  
竹原 いやちやうねん。さっきの  
陽子 さっきって？  
竹原 昼の。葬儀会館の駐車場に  
陽子 ああ私も見た  
竹原 あれ、何歳くらい  
小野 僕、見てませんわ  
竹原 おったで  
陽子 おったおった  
小野 いつですか  
竹原 クラクシヨン鳴ったときかな  
小野 クラクシヨン？  
陽子 出棺のとき  
小野 どんな猫でした？  
陽子 横切っただけやから  
小野 住んでるんですかね  
陽子 住んでる？  
小野 葬儀会館に  
竹原 そんなわけないやろ  
小野 意外と坊主がエサやったり  
竹原 なんてやねん  
小野 「なんてやねん」

竹原 何？  
小野 竹先輩、相変わらず突っ込み下手ですよ  
竹原 なんでやねん  
小野 ほら  
陽子 ホンマや  
小野 向こうじゃね、関西人は突っ込み能力問われますからね  
陽子 小野君も関西弁ちよっとおかしなってるで  
小野 ホンマですか  
竹原 (強調して)ホンマや  
小野 それショックですわ

やや問。

小野 しゃべっていいですか  
陽子 何  
小野 僕、辞めたでしょ  
陽子 何の話  
小野 バスケ部途中で退部したやないですか  
竹原 せやった？  
小野 覚えてないんすか？二年の途中  
竹原 昔のことやからな  
小野 チーム、めっちゃ戦力ダウンやったやないですか  
竹原 純が二年のときやる  
小野 そうですけど  
竹原 確かええとこまでいったで  
陽子 地区大会ベスト8  
小野 あらら  
陽子 なんで辞めたんやった？  
小野 あれ、なんでやる、勉強との両立とかそんな感じっすかね  
陽子 練習がしんどいからへこたれた  
小野 確かにきつかったですけど  
陽子 ええ加減やな  
小野 陽子先輩、引きとめてくれはったんですよ  
陽子 私が？  
小野 覚えてないんすか？  
陽子 なんで？  
小野 「今、辞めたら絶対後悔する。最後まで続けて」って、手紙くれましたよ  
陽子 手紙？  
小野 手紙ですわ。今みたいなメールちやいますよ  
陽子 ありえへん

小野 くれましたって  
陽子 覚えてへん

小野 えー、僕の中でははっきり画えが残ってる記憶なんですけど。手紙もらったときの  
天気とか、手紙の感触とか、字体とか

陽子 マネージャー業務の一つやったんちゃう

小野 業務って

陽子 だから覚えてないのかもしれない

小野 そんなかないことあとから言わんとってくださいよ

陽子 しゃあないやん。大人になってホンマのことを知るって大切なことやで

小野 僕の美しい思い出返してくださいよ

陽子 しようもない思い出やん

小野 なんてこと言うんですか。竹先輩なんか言うてやってくださいよ

竹原 知らんやつ、いっぱいおったな

小野 は？

竹原 葬儀

小野 何の話ですか

竹原 葬式の話や

小野 いやわかってますけど

竹原 知らん人ばっかしや

小野 そらそうでしょう

竹原 知ってる顔がもつとあっても良かったやろ

小野 あれから何年経ってると思ってるんですか

竹原 え

やや間。

陽子 どうすんの？

竹原 何

陽子 今から

竹原 今

陽子 暮れてきた

夕暮れが迫る。

小野 誰もいないすね

竹原 せやな

小野 誰も来ないすね。クラブとか盛んやないんですね

竹原 最近の学校はそうやで

小野 何ですか

竹原 日曜日は静かや

小野 別の建物みたいっすね  
竹原 立て替えたんやろ

やや間。

小野 大声、出しましょか  
竹原 なんでやねん  
小野 ほら  
竹原 何  
小野 下手な突っ込み  
竹原 純  
小野 なんですか  
竹原 瑞穂の顔、触ったやろ  
小野 いつですか  
竹原 司会の人が「最後のお別れ」って言うて

陽子は校舎を見ている。

小野 見てたんすか  
竹原 見た  
小野 そら触りますよ  
竹原 お前が取り乱してわけわからんことせんように見張ってた  
小野 取り乱しませんよ  
竹原 ホンマか  
小野 あれから何年経ってると思ってるんですか  
陽子 遺跡みたいやな  
小野 何ですか  
陽子 まだ若い遺跡やけど  
小野 イセキ？

竹原、校舎を見る。

竹原 何年か経ったらそうなるんちゃうか  
陽子 何  
竹原 遺跡やろ、ここも。俺らにしてみれば  
小野 僕らの学校って、タイムカプセルって埋めましたっけ？  
竹原 埋めてない  
小野 木いとか植えてませんか？記念樹とか  
竹原 植えてへん

やや問。

竹原 人扱いされへんかったやろ

小野 今度は何話なんですか

竹原 バレー部の顧問に

陽子 バレー部の顧問？

竹原 体育館の優先使用決める会議のとき、俺と陽子が会議に出て

陽子 吉田先生

竹原 俺が吉田とやりあって

小野 誰ですか

陽子 嫌な先生、メガネの

竹原 あいつ、話しながらずっと俺の顔見いひんかった

陽子 そうやったわ

小野 結局、体育館取れたんでしたっけ？

竹原 バレー部に占領された

陽子 知らん間にそうなった

小野 大人ってひどいっすね

陽子 もしかしてあのとときの吉田先生より今の私等の方が年上ちゃう？

小野 あ、ホンマですなえ

竹原 反面教師や

小野 昔の白黒映画で、黒人の運転手の車に、パーティー帰りの白人カップルが乗り込ん

できて、後部座席に。運転手おるのにめちやくちやイチャつくやないですか

陽子 映画？なんの話

小野 あれ、白人カップルは黒人運転手を人扱いしてないってことですよ

竹原 吉田に会って、自分はそんなことは絶対せんと思うてきたんやけど

陽子 そんなん難しいで

竹原 何

陽子 みんな生きてんねんから

小野 あの・・・自分で会社立ち上げたらですね、人扱いされんことはいつもですわ

陽子 小野君、会社、作ったん？

小野 元々はNPO法人やったんですけど

陽子 なんの会社

小野 盲聾者の仕事斡旋の

陽子 モーローシャ？

小野 目えも見えへん上に耳も聴こえへん人って結構いるんすよ。ほんで、なかなか仕事

がないんすよね。不景気やから

陽子 小野君、そんな仕事してんの

小野 たまたまですわ。ほんで、自立支援法という法律があるんですけど、そのせいで今

年から助成金切られたんですわ。支援いうてるけど「自分でなんとかせえ」っていう法

律ですわ

陽子 どうやって話すん？

小野 触手話（しよくしゅわ）って言うんですけど

陽子 触手話？

小野 手話を触り合うんですわ

陽子 手を触るってこと？

小野 手え触らんとわからん状態ですわ

竹原 びっくりしたわ

小野 何ですか

竹原 なんでそんなことしてんの

小野 なんででしょうね

陽子 大変なんでしょ

小野 人ってゆとりがあるときは優しいんすわ。当たり前ですけど

陽子 ほんで

小野 こないだまで地域の交流会とか学校とかも呼んでくれたんですけど

陽子 学校？

小野 「総合学習」で科目があるんすわ。調べもんしたり、民間のいろんな人呼んできて交流したり、「障がい者を知る」っていう授業もあってですね、僕らそこ行って。子どもら意外と素直で、なんか良かったですわ。ペアになって、手え握り合って。やっぱりね、伝え合うペースが遅いんですよ。当たり前ですけどね。手話やってそれ触らなあかんから。でも、ゆっくりやから、シンプルに言葉が染みていくっていうか

陽子 小野君、手話できるん？

小野 ちよつとですけど

陽子 すごいな

小野 ほんでもね、学校の方も変わってきて、せわしなつたみたいで、そんな交流会してる暇があったらみたいなき感じになってきて、ほとんど呼ばれんようになりましたわ。せやから、僕ら、売り込むんですわ。企業の研修とか学校とか。見事に相手にされないです。触手話なんていちいち遅いやないですか。あのスピードは時代に合わへんのかもしらないですけど。僕ら、あしらわれても売り込みに行くんですけど

陽子 そうなんや

小野 せやけど、時々、へこむんですわ

竹原 不景気やからな

小野 何ですか

竹原 みんな余裕あらへん

小野 いや、へこむ理由はそれもあるんですけど、なんや僕のやってること彼らを商売道具にしてへんかって

陽子 商売道具？

小野 見世物ですかね

陽子 みんな納得済みなんやろ

小野 みんなですか

陽子 その・・障がい持ってる人ら

小野 わかりませんわ  
陽子 なんて  
小野 こんなこと僕が言うとは軽いんですけど  
陽子 何  
小野 みんな生きていくのに必死やから  
竹原 純  
小野 え  
竹原 成長した  
小野 いや・・ちやいますわ  
竹原 何が  
小野 あの、こんな話がしたかったんちゃうんですわ  
竹原 何  
小野 僕、バスケ部辞めたでしょ  
陽子 その話に戻んの？  
小野 辞めた理由あるんですわ  
陽子 忘れたんちゃうの？  
小野 めっちゃ覚えてます  
陽子 何よ  
小野 知らないんすか  
陽子 知らんよ  
小野 聞いてないんすか  
竹原 なんやねん  
小野 瑞穂ちゃんにだけ言うたんですけど  
陽子 瑞穂に？  
小野 瑞穂ちゃんから聞いてないんすか  
竹原 だからなんやねん  
小野 合宿費、部室から忽然と消えた事件、覚えてます  
竹原 合宿費？  
陽子 そんなことあった？  
小野 あれ取ったん、僕っすよ  
竹原 え  
小野 あれ取ったん僕っすよ。(誇張して) 僕は盗人(ぬすつと)ですよ。わあー  
やや問。  
竹原 へえー  
陽子 盗人って今時言わへんで  
小野 あれ  
竹原 何  
小野 そんだけっすか

竹原 もうええんちゃう  
小野 僕は稀代の怪盗っすよ  
陽子 そんなええもんちゃうやろ  
小野 いいんですか？僕を許して  
陽子 忘れとったし  
小野 いいんですか？僕は許されて  
竹原 ええんちゃう  
小野 僕は今日まで罪意識を原動力にして生きてきたんですよ  
陽子 ご苦労さん  
小野 今の仕事もそんなときの罪意識でやってるんすよ  
竹原 罪ってなんやねん  
小野 なんですか  
陽子 手紙、瑞穂やわ  
小野 え  
陽子 あの子、「小野君辞めて欲しくない」って  
小野 ちやいますよ  
陽子 今、思い出した。私、「ほんなら手紙書き」って  
小野 そんなことないですよ  
陽子 「気持ち伝え」って  
竹原 そうなんや  
陽子 小野君、肝心なことを覚えてへんなあ  
小野 ……  
竹原 陽子はずっとこっちなん？  
陽子 え  
竹原 一回、東京出たやろ？  
陽子 帰ってきた  
竹原 そうなんや  
小野 風景揺れましたわ  
竹原 何  
小野 なんで僕ら瑞穂ちゃんの話をしてないんすか  
竹原 してもしやあないやろ  
小野 なんで瑞穂ちゃんはこのにおれへんのですか。なんで死んだんすか  
竹原 交通事故や  
小野 そんなこと聞いているんちやいますよ  
竹原 じゃあなんて言えばええねん

やや問。

陽子 私も連絡もうたとき、動かれへんかったよ  
竹原 ……

陽子 周りの景色、揺れてた  
竹原 . . . .  
陽子 だからなんかつかまるもん探した

陽子は竹原を見る。そして、小野の方へ近付く。

陽子 小野君、触手話、やった？

小野 え

陽子 教えて？

小野 . . . .

陽子 どうやんの？やってみたい

小野、陽子の両手をとる。

小野 (手話だけで) 私は、学校で、勉強、する

陽子 なんて言うてんの

小野 目え、開けてたらダメですよ

陽子 え

小野 目え、閉じてください

陽子 目？

小野 見えへんわけですから、条件同じにせな

陽子 あっそうか (目を閉じる)

小野 (手話をしながら) 私は、学校で、勉強する

陽子 うん

小野 (手話をしながら) 私は、学校で、バスケットボールをする

陽子 うん

小野 (手話をしながら) 私は、学校に、行く

陽子 うん

小野 (手話をしながら) 私は、学校で、友達に、会う

陽子 うん

小野 (手話だけで) 私は、瑞穂の、ことが、

陽子 何

小野 (手話だけで) 私は、瑞穂の、ことが、本当に、好き、でした

陽子 わかれへん

小野、陽子から離れる。

小野 竹先輩はずるいっすね

竹原 なんてやねん

小野 ほら  
竹原 え  
小野 突っ込みも弱い  
竹原 もうええって  
小野 勝負しましょうよ  
竹原 またか  
小野 フリースロー10本。  
竹原 増えとるやん  
小野 缶コーヒーのホット10本  
竹原 それも増えとる

小野、竹原を見つめる。

竹原 ええよ  
小野 ホンマです  
竹原 ホンマや  
小野 竹先輩、ずるいから、ほんで弱いから  
竹原 昔、フリースロー、何本練習したと思っくんねん  
小野 えらい自信っすね  
竹原 負けるわけあらへん  
小野 先、行っときますよ  
竹原 え  
小野 もう少ししてから来てくださいよ  
竹原 なんて  
小野 練習しますから。ボールに慣れときますから

小野、去る。

陽子 年賀状のやりとりはあってんけど  
竹原 ・・・  
陽子 瑞穂と  
竹原 そうなんや

陽子は校舎を見る。

竹原 いつ戻ってきたん？こっちに  
陽子 いつでもええやん  
竹原 え  
陽子 もう関係ないやん  
竹原 せやな

やや間。

竹原 陽子

何

竹原 俺な、瑞穂と会ってた

陽子 そうなん

竹原 結構会ってた

陽子 へえー

竹原 瑞穂な、いろいろ大変やって、俺が時々相談にのってて

陽子 私も大変なんよ

竹原 え

陽子 言うたでしょ、お母さんのこと

竹原 ああ

陽子 ホンマは入院してなあかんのに。昨日も帰ってきた、病院抜けて、一人で

竹原 わからへんの？

陽子 病気のこと、認めたくないんやと思う

竹原は陽子を見つめる。

陽子 何？

竹原 え

陽子 何やの？

竹原 何？

陽子 ずるいね。竹原君

竹原 何が

陽子 小野君の言うてた通りや

竹原 なんで？

陽子 黙ってたり・・・肝心なこと、言わへんかったり・・・

竹原

夕昏。

「その日、目をなくした」

「その日、耳をなくした」

「その日、声をなくした」

「その日、足をなくした」

「その日、手をなくした」

「見えない」

「聴こえない」

「呼ぶことができない」

「立たない」

「抱きしめることもできない」

「PS」

「.....」

夜。ベンチに男と女が座っている。  
別の男が大の字にうつ伏せている。

斎藤 あれは

中野 ええ

斎藤 行き倒れ

中野 こんな場所ですか

斎藤 ありえますね

中野 ありえますか

斎藤 例えば、独り暮らしで

中野 まだ若いですよ

斎藤 例えば、お金がなくて、空腹で

中野 ありえますか

斎藤 大丈夫かな

中野 え

斎藤 死んでないですよ

中野 どうかしら

斎藤 死んでるんやないですかね

中野 時々動きますから

斎藤 動きます？

中野 かすかにですけど

斎藤 ホンマですか

二人、じっと観察する。

中野 ほら  
斉藤 え、わかんないです  
中野 今も微妙に  
斉藤 動いてます？  
中野 揺れてはる

二人、じっと観察する。

斉藤 急に、つてことはありませんよね  
中野 ありますね  
斉藤 昨日まであんなに元気そうやったのに  
中野 ありますね  
斉藤 さっきまでピンピンしてたのに  
中野 ありますね  
斉藤 やっぱり死んでますよね  
中野 どうかしら

うつ伏せの男は動かない。

斉藤 中野さんですか  
中野 はい  
斉藤 中野美登里さん  
中野 はい、中野です  
斉藤 斎藤です  
中野 斎藤さん  
斉藤 ま、斎藤です  
中野 はい

斎藤は視線を移す。

斉藤 滑り台  
中野 錆びてますね  
斉藤 最近の滑り台はいろんなもんが付いてますよね  
中野 いろんなもんですか？  
斉藤 吊橋が付いてたり、のぼり棒が付いてたり、ブランコまで付いてたり、複合遊具つていうんですけどね

斎藤は別の物を見る。

斉藤 シーソーのある公園なんて今時珍しい

中野 どうしてですか  
斎藤 事故が多い

斎藤、視線を移して。

斎藤 そして、砂場

中野 はい

斎藤 砂場の上に、彼

中野 男の人ですか

斎藤 ズボンはいてますから

中野 女の人もズボンはきますよね

斎藤 さて

中野 はい

斎藤 初対面ですね

中野 はい

斎藤 同じことです。手続きわかっはりますよね

中野 はい

斎藤 いつも通りです

中野 はい

斎藤 いろいろ訊いていきます

中野 ……

斎藤 アンケートみたいな感じで

斎藤、ポケットから紙とペンを取り出す。その紙はしわくちゃである。

斎藤 職業

中野 無職です

斎藤 そうでした

書く。

斎藤 結婚は

中野 してます

斎藤 そうでした

書く。

斎藤 子供は

中野 高校生が一人

斎藤 そうでしたね

書く。

齋藤 死んでないとするとなをしてるんでしょね

中野 え

齋藤 彼は何をしていると思いますか

中野 それは

齋藤 アンケートの流れで

中野はうつ伏せの男を見る。

齋藤 どうぞ

中野 地面を近くで見なかった

齋藤 かなり近いですね

中野 近眼かしら

齋藤 小石を見えますね

中野 小石

齋藤 砂粒を見えますね

中野 砂

二人は観察する。

齋藤 どうぞ

中野 疲れたから横たわった

齋藤 ベンチが

中野 ベンチ？

齋藤 ベンチに座ればいい

中野 それは、あの

齋藤 はい

中野 私らが座ってましたから

齋藤 何人用ですかね

中野 無理をすれば4人

齋藤 いつからなんですかね

中野 いつから？

齋藤 彼がああしてるのは

中野 ええ

齋藤 私らが彼を見たときからにしときましよう

中野 え

齋藤 私らが彼を気にし始めたときから、彼はああやって地面に顔を近づけている  
中野 倒れている

斉藤 いや、倒れているのではなく、わざと砂に顔を近づけている

斎藤はまた別の紙を取り出す。その紙もしわくちゃである。

斎藤 あとこれにいろいろ書き込んでください

中野、紙を受け取る。

斉藤 いつも通りに

中野、ペンを取り出し、紙に書こうとする。

斎藤 ああ、読んでから

斎藤、うつ伏せの男のそばに歩み寄る。

斎藤 大地にしがみつく男

うつ伏せの男は動かない。

斎藤 あ、判子

中野は紙に判を押す。

斎藤は一万円札を二枚取り出す。

斎藤 二枚

中野は二万円を見る。

中野 ありがとうございます

斎藤 取りに来てください

中野 え

斎藤 一種の儀式です。ここまで

中野、立ち上がり、お金を受け取る。

斎藤は中野から紙を受け取る。

斎藤 「赤えい」って知ってますか？

中野 エイですか？

斎藤 「赤えい」

中野 エイですか？魚の

斎藤 昔話の絵本で見たんですけど、舟が遭難して、海を漂っていたんですね、それで、島が近くに見えてきた。「助かった」と安心したんですね、船乗りっていうんですか、舟を寄せて島に上陸した。ところがですね、どこを探しても人がいないんです。それどころか見渡せば、岩の上には見慣れない草木が茂って、その中には藻がかかっている。あちこちの岩の隙間には魚が棲んでいる。船乗りたちはですね、歩いて、歩いて、探し回ったんですが、家も、人も、一向に見つけることができなかつた。気配もなかつた。船乗りたちは、せめて水たまりで喉の渇きを癒そうとしたんですが、どの水たまりも海水だった。結局、助けを求めるのは諦めて、船乗りたちは船へ戻って、その島を離れたんですね。すると、急に、今までそこにあつた島は海へ沈んでしまったというんです。実は、その島は、海面へ浮上した大きな大きな「赤えい」だったと、そういう話です

中野 よくわからない話ですけど

斎藤 一種の妖怪ですね

斎藤は地面を触る。

斎藤 例えば「赤えい」

うつ伏せの男を見る。

斎藤 「赤えい」にしがみつく男

中野 何の話ですか

斎藤、ベンチに戻ろうとすると、自転車に乗った女が公園に現れる。  
うつ伏せの男の前でブレーキを踏む。

女 起きや

うつ伏せの男は答えない。

女 起きや

うつ伏せの男は答えない。

女 踏むで

男 どう見える？

女 何がじゃ

男 俺はどう見えるか訊いてんねん

女 行き倒れ  
男 想像力ないで  
女 何がじゃ  
男 細いクダがあつてな  
女 クダ？  
男 チューブや  
女 チューブ？  
男 パイプやな  
女 なんでいろいろ言うねん  
男 一緒のこと言うとする  
女 言うてへん  
男 せやから細くて長い空洞や  
女 空洞つて何じゃ  
男 覗いとんねん  
女 ノゾキか  
男 まあ、ノゾキや  
女 何を覗いとんねん  
男 あっちや  
女 あちつてなんや  
男 地球のあっち側や

女、自転車を置き、男に近付く。

女 見して  
男 俺が見とる  
女 代わつて  
男 今、忙しい  
女 そんな見たいわ  
男 ほな、ええやんけ

男、管を覗いている。

男 うわ、見えるわ。めっちゃ見える  
女 嘘じゃ  
男 見える見える。はっきり見えるわ。めっちゃおもしろい  
女 嘘じゃ  
男 嘘ちやうわ  
女 どこの国やねん  
男 どこの国？  
女 あっち側や

男 国はわからん  
女 ブラジルや  
男 ブラジル  
女 地球儀見たことないんか  
男 うわ、ブラジルや。ブラジル見えるわ。サッカーしとるわ。みんなサッカーしとるわ  
女 ひっかかった  
男 なんや  
女 こっちの反対は海じゃ  
男 海？  
女 ブラジルの近くの海じゃ  
男 海ちやうわ  
女 海の水、逆流じゃ  
男 机上の論理や  
女 なんやそれ  
男 頭ンの中だけで考えとるってことや  
女 言うてみ  
男 何  
女 見えるもん  
男 人や  
女 ヒト？  
男 二人や  
女 二人  
男 男と女や  
真 普通やな  
男 甘い空気はないわ  
女 カップルちやうんか  
男 先輩後輩  
女 は  
男 職場の同僚  
女 は  
男 親子  
女 は  
男 兄妹  
女 は  
男 師匠と弟子  
女 なんやそれ  
男 俺の推理や  
女 どんな顔しとんねん  
男 どんな顔？  
女 見えてるんやろ

男 顔のない顔や

(\*)

女 のっぺらぼうか

男 だから観察してんねん

女 観察ってなんやねん。理科か、理科の時間か、月の観察とかメダカの観察とか、そんなんか

男 そうや

女 楽しいんか

男 楽しいで

女 理科は楽しらないで

男 楽しいわ

女 わかれへんやん

男 何が

女 遠く離れてて誰とか

男 わかるわ

女 (強く) 手え届けへんやん

(\*より)

齋藤 パチンコですよね

中野 ……

齋藤 今日で248万になりますよ

中野 はい

齋藤 なんでなんですかね

中野 なんですか

齋藤 これもアンケートの流れで

中野 理由ですか

齋藤 そうですね

中野 理由

齋藤 はい

中野 それなりの理由はあります

齋藤 それなりでかまわないです

中野 ストレス

齋藤 そんなありきたりな

中野 夫の話です

齋藤 どうぞ

中野 私の夫は両腕がありません

齋藤 ちょっと「距離」とりますね

女、自転車に乗り、去る。

齋藤、中野から離れる。

齋藤 どうぞ

中野 事故です

齋藤 事故

中野 トラクターのシャフトに巻き込まれて

齋藤 トラクター？

中野 トラクターを洗っていたときに誤作動で回り出したシャフトに

齋藤 シャフト？

中野 右腕がちぎられて

齋藤 右腕です

中野 右腕がちぎられたときに右腕をあきらめたら良かったんですが、左腕で右腕を引つ

張りにいったので、左腕も巻き込まれて

齋藤 (動作を確認しながら)右腕を助けようとして、右腕を左腕で引っ張った、と、こう

いうわけですね

中野 私の目の前でした

齋藤 そうですか

中野 機械は止まったんですが

齋藤 はい

中野 左腕ももう使い物にならなくなって

齋藤 両腕ですね

中野 はい

齋藤 良かったですね

中野 なんです

齋藤 機械止まったから、体はありますね

中野 はい

齋藤 あなたもいます

中野 え

齋藤 あなたも機械に巻き込まれなかった

中野 ……

齋藤 旦那さんを助けようとしなかったから

再び、同方向から自転車に乗った女が現れる。

うつ伏せの男の直前でブレーキを踏む。

女 起きや

うつ伏せの男は答えない。

女 起きや

男 今、忙しいねん

女 暇やろ  
男 仕事中や  
女 ノゾキやんけ  
男 観察や  
女 理科の勉強は嫌いやいうたやろ  
男 帰れや  
女 何でじゃ  
男 帰って勉強せえ  
女 しとるわ  
男 いっぱいせえ  
女 宿題も「チャレンジ」ももう終わっとるわ  
男 ほな、遊びに行け  
女 遊んどるわ  
男 デート行けや  
女 行っとるわ  
男 カレシ出来たんか  
女 いっぱいおるわ  
男 ほな、ええやんけ  
女 いろいろややこしいこともあるわ  
男 いっぱいおるからや  
女 うまいことやっとるわ  
男 チューしたんか  
女 なんでそんなこと言わなあかんねん  
男 報告せえ  
女 何でじゃ

やや問。

男 楽しそうやな  
女 楽しんどるわ  
男 ほな、幸せやんけ  
女 毎日、幸せや  
男 良かったやんけ  
女 起きや  
男 しつこい  
女 起きてよ  
男 無理じゃ  
女 帰るで  
男 帰らへん  
女 帰るで

男 いやじゃ  
女 帰ってきてよ  
男 お前が帰れ  
女 何  
男 お前は帰れって  
女 なんでよ  
男 もう遅いやろ  
女 門限なんかクソじゃ  
男 おかん心配するやろ

女、自転車から降りて、男をじっと見つめる。

女 この前、マイとルミナリエ見に行った。めっちゃきれいやった。2700って知らんやろ、新しいお笑いや。めっちゃ笑える。ミスチルのライヴ行った。めっちゃ踊った。田口ランディの新作読んだ。めっちゃ泣いた。ユミがカレシにふられた。めっちゃ手え握った。お父ちゃん、定年や。ずっと家おる。めっちゃ話するようになった。お母ちゃん、30万の羽毛布団勝手に買っておった。めっちゃ怒った。今日はめっちゃええ天気やった。めっちゃ気持ち良かった。少しだけ風がふいてた。めっちゃ優しかった

(△)

やや間。

男 良かったやんけ  
女 何じゃ  
男 ええことだらけやんけ  
女 こっちの方がめっちゃ楽しいわ

自転車の女、去る。

(△より)

斎藤 離婚されてますよね  
中野 え  
斎藤 結婚は嘘ですよ。そんなことは簡単にわかりますんで  
中野 そうですか  
斎藤 それも介護のストレスですか  
中野 なんですか  
斎藤 離婚の理由  
中野 アンケートですか  
斎藤 そうですね  
中野 届きませんから

斎藤 届かない？

中野 両腕、ありませんから

斎藤 はい

中野 私が目の前におつても手が届かないんです

斎藤 そうですか

中野 それなりの理由です

斎藤 ええと思いますよ

中野 なんですか

斎藤 ヒトは根源的に無責任です

中野 え

斎藤 ヒトは、自分以外の不幸についてなんの責任もとられへんのだと思いますわ

中野 そうですか

斎藤 ヒトと言ってしまうとずるいですね。私でした。私、私、「私」と言い換えます。私は自分以外の不幸についてなんの責任もとることが出来ない

中野 私は幸せですよ

斎藤 幸せですか

中野 夫は施設にいます。障がい者年金ももろてます。私も月に一度様子を見に行つてます。足でパソコンをうてるようになりました。ゆっくりですけど。よう間違えますけど。今、練習中です。ずっとパソコンうってますわ。夫は幸せやと思います。それでええんやと思います

斎藤 あなたは？

中野 なんですか

斎藤 旦那さんではなくて、あなたのお話を聴きたいんですけど

自転車に乗った女、登場。うつ伏せの男の手前で止まる。自転車を降りて。

女 帰るで

男 セヤから仕事中や

女 いつ終わんねん

男 ずっと残業や

女 みんな待っとんねん

男 みんなって誰やねん

女 お父ちゃん、お母ちゃん、親戚のかっちゃん、吉江おばちゃん

男 4人やんけ

女 会社の人、友達

男 待ってへん

女 待つとるわ

男 待たんでええ

女 意味あるんかそれ

男 何が？

女 ノゾキや  
男 大事な仕事や  
女 暇つぶしやろ  
男 あり余つとんねん  
女 何がじゃ  
男 せやから時間や  
女 もつと有効に使え  
男 お前、考えたことあるんか  
女 何が  
男 手え動かへんねん。足、動かへんねん。首、動かへんねん。体、張り付いたままや  
女 嘘じゃ  
男 考えてみ？べったり張り付いたままや。目の前に何がある？地面や。小石や。砂や  
女 嘘じゃ  
男 なんにもできひん。考えてみ？時間が見境もなく襲ってくる。退屈が見境もなく襲ってくる。何したらええねん。何見たらええねん。何を感じたらええねん。何を考えたらええねん。何を思ったらええねん  
女 嘘じゃ

女は耳をふさぐ。

男 耳、ふさぐな  
女 . . . .  
男 遼子、頼むわ、耳、ふさがんといってくれ

女はずっと耳をふさいでいる。

男 もう少しやねん  
女 何がじゃ  
男 もう少しで顔わかんねん  
女 関係ない人やろ  
男 関係ある  
女 遠くにおるやろ  
男 距離は関係ない  
女 いつつもや  
男 何  
女 おんなじこと言うてる  
男 言うてへん  
女 知ってるか  
男 . . . .  
女 毎日、来てんねんで、ここに。毎日、来てんねんで、ここに。毎日、来てんねんで、ここに。

ハハハに。

男・・・  
女　うちは毎日ここに来て、ここに立って、毎日、おんなじこと思って  
男　・・・  
女　聴いてる？お兄ちゃん

男、管を覗いている。

男　お前もおんなじや  
女　おんなじって何  
男　俺も  
女　何よ  
男　顔がない。だんだん無くなってきとる

(○)

女　誰なん？  
男　・・・  
女　誰が見えるん？  
男　・・・  
女　うちとお兄ちゃんやろ  
男　・・・  
女　お兄ちゃんが遠くから、うちとお兄ちゃんを見とる  
男　あれは陽気なブラジル人や  
女　手え届かへんもんは消えるねん  
男　だから必死で見とる。目え凝らして  
女　横におるやん  
男　え  
女　うちを見てよ  
男　え  
女　こつち見てよ。こつち見てよ。こつち見てよ。こつち見てよ。こつち見てよ。こつち見てよ。

男、動かない。

(○より)

齋藤　大音量の音楽  
中野　はい  
齋藤　点滅するネオンですか  
中野　はい  
齋藤　当たりのときは脳から大量のドーパミンが出るらしいですね  
中野　そうですか  
齋藤　気持ちがいい

中野 そうですね

斎藤 クスリと同じですよ

中野 そうですね

斎藤 サルの実験であるそうです。ボタンを押すと必ずエサが出る仕組みより、ランダムにエサが出る仕組みの方が、急にエサが出なくなってもずつとボタンを押し続けるらしいですね。何度も、何度も、ボタンを押し続けて。出ないんですけどね、そうめつたにご褒美なんて出ませんよ。ご褒美は、バナナ、リンゴ、リンゴですかね。リンゴはあれですか、つまり、フィーバーですよ。大当たりですか。じゃらじゃら出てきますよね、パチンコ玉。ドル箱。確変突入。また、ハンドルに手を置いて。CR機、デジパチ、羽物。ネオン。点滅。大音量の音楽。煙草の煙。あ、最近禁煙席ありますよね。ぐるぐる回るわけですよ。頭が。お祭りですね。ぐるぐるぐるぐる。しんどいこと忘れて。頭の中のお祭りですね。お祭り騒ぎ。毎日がお祭り

女、自転車で公園をぐるぐる回り始める。

斎藤 命が削れていきますね

中野 え

斎藤 ぐるぐるぐるぐる

中野 ぐるぐるぐるぐる

斎藤 螺旋のように命が削れて寿命が縮みますよ

中野 それくらい知ってますよ

斎藤 そうですか

中野 教えてほしいくらいですね

斎藤 何ですか

中野 寿命ですか

斎藤 私は女好きなんです

中野 え

斎藤 いろんな女の人と付き合いました

中野 え

斎藤 同じ時期に複数だったときもあります

中野 は

斎藤 でもですね、見つけまして

中野 は

斎藤 一人

中野 は

斎藤 でもですね、亡くしました

中野 は

斎藤 はい

中野 ・・・・

斎藤 私は・・・私の話をしてしまいましたわ

自転車の女、うつ伏せの男の前で止まる。

(★)

中野 帰っていいですか

女、立ち上がり、帰ろうとする。

齋藤 いつでも待ってますから。ご入り用なら

中野、立ち止まる。

齋藤 連絡先はポケットティッシュ

中野、ポケットティッシュを取り出し、見つめる。

(★より)

女 何度もおんなじ場所で、何度もおんなじようなことを思う。明日も、明後日も、その次も。お兄ちゃんの過去を散歩する。何回も見た。何回も聴いた。何回もしゃべった。お兄ちゃんの過去を散歩しながら、お兄ちゃんの未来を探す。せやけど、お兄ちゃんの顔、忘れてきた。お兄ちゃんは顔のない顔。お兄ちゃん、恋人、おったんかな。知らん。そんな話はせえへんかった。うちは何度も何度も散歩する。お兄ちゃんの街、お兄ちゃんの小学校、お兄ちゃんの公園、お兄ちゃんの道、一回、お兄ちゃんのバイクの後ろに乗せてもらったこと思い出した。何度も何度も散歩する。お兄ちゃんの未来を探す。お兄ちゃんのおるところはお兄ちゃんらしいところやったらええと思う。時間ってあるんかな。時間ってなんや。おんなじ場所でおんなじことして、おんなじことしゃべって、それがずっと続いていくんかな。私も、おんなじ場所でおんなじようなことを思う時間がきつと、ずっとずっと続いていくんかな

自転車の女、去る。

齋藤はしばらくうつ伏せの男を見つめる。うつ伏せの男に近付く。

齋藤 逃げ遅れたんですね

男 近くの避難所におってんけどな

齋藤 (遠くを見て) 小学校ですね。避難所になってましたわ

男 誰が言い出したんかわからんけど、そこおってもあかなくて、我先にみんな逃げ出して大渋滞や。道に車が殺到した。秩序なんてあらへん

齋藤 秩序は簡単に崩れますから

男 みんな余裕ないしな

齋藤 ええ

男 命、かかっとるわけや

齋藤 かかってましたね  
男 急に飛び出してきた車に  
齋藤 はねられたわけですか

やや間。

男 見えてんの？

齋藤 私はあの小学校の校庭にいましたから

男 そうなんや

齋藤 はい

男 毎日、何してんの？

齋藤 人、探してますわ

男 見つかっただん？

齋藤 いやなかなかですわ

男 せやろな

齋藤 なかなか遠くに行けないですし

男 その人はちやうの？

齋藤 この人は客です

男 客？

齋藤 今日初めて会って、昨日も初めて会って、明日も、明後日も、初めて会うんですけど

男 繰り返すわけやな

中野はベンチに座っている。

齋藤 動けないんですか

男 せやな

齋藤 そうですか

男 身体なくなってもうた

齋藤 せめて

男 何？

齋藤 せめて触らせてもらえませんか

男 ええけど

齋藤 ありがとうございます

男 出来るん？

齋藤 わかりませんが

齋藤、男に近付く。

ゆっくり手を伸ばし、男に触る。

斎藤 「赤えい」にしがみついていますね、私ら  
男 赤えい？

斎藤 妖怪です

男 妖怪？

斎藤 私らのいる場所は「赤えい」の背中です  
男 物の見方を変えるってことやな

男はゆっくり上半身を起こす。

斎藤 「赤えい」は、時空間を飛び越えますよ

うつ伏せの男は立ち上がる。

三、病院の近くの公園にて

「わたし」

「死にましたよ」

「知ってましたか」

「気付いてましたか」

「形になったわたしの肺に」

「歌をあてがいますか」

「動かないわたしの唇に」

「言葉を吸わせますか」

「わたしは砂の塊」

「知ってましたか」

「気付いてましたか」

「PS」

「.....」

午前中の陽ざし。ベンチに男と女。

少し離れた場所に女がぼんやり立っている。

真一 例えば、全部、嘘やねん

実紅 嘘って何

真一 だから、全部や

実紅 全部って何

真一 今日とか

実紅 今日はあるやん

真一 だから、例えばや

実紅 例えば？

真一 そう考えてみるねん。一回、いろんなことを括弧に入れて横に置いとくねん  
実紅 括弧って、カッコウ？（と、カッコウのマネをする）

真一 なんの表現かわからへん

実紅 括弧なん？（指で書いてみる）

真一 せや。括弧に全部入れるねん

実紅 何それ

真一 そういう考え方がああるねん

実紅 アホなくせに

真一 聞け。あんな、今日という日を括弧に入れて、今までの過去を括弧に入れて、えー  
シヤレちやうで

実紅 ダサ

真一 ここはどこや

実紅 公園やん

真一 あれはなんや

実紅 病院やん

真一 場所も建物も括弧に入れて

実紅 ほんで

真一 俺はなんでここにおんねん

実紅 入院しとる

真一 原因は

実紅 バイクの事故

真一 それも括弧に入れんねん

実紅は真一の肩を触る。

真一 痛いねん

実紅 鎖骨、折れとるからや

真一 付き合え。このゲームに

実紅 痛みはホンマやん

真一 痛たない

実紅 痛いのんはとんでいかへんやろ

真一 あえて、この痛みも括弧に入れんねん

実紅 そのゲーム、おもんない

真一 考えたいんやつて

実紅 考えんていい

真一 なんでえ

実紅 アホやから

真一 アホはアホなりに考えたいときがあるねんて

実紅 もっかい、触るで

真一 いや、やめて

実紅 触るでえ  
真一 来いや  
実紅 えい

実紅、真一の肩に触る。

真一 痛たない

実紅 ボルト、入っとるやろ

真一 痛みも括弧に入れたって言うたやん

実紅 そんな無理やろ

真一 気合いや

実紅 気合いが何になんねん

真一 例えば、虫歯が痛いときに、親指の爪立てて、反対の手えの甲にギューってやって、

虫歯の痛み誤魔化すやろ

実紅 一般論とちゃうわ

真一 なんでやねん。脇役の痛みが主役の痛みを上回ることによって、主役の痛みを消す

っていうミッシヨンやないか

実紅 なんで括弧に入りたいねん

真一 いろんなもん、括弧に入れて最後に俺に見えてくるんか

実紅 なんも見えへんて

真一 俺に残るんか

実紅 暇か

真一 それは当たってる

実紅 もてあますか、時間を

真一 もてあます

実紅 しゃあないで、入院しとんねんから

真一 気持ちは楽やな

実紅 ほな

真一 何

実紅 付き合うわ

真一 ホンマか

実紅 そのゲーム、付き合うわ

真一 おお

実紅 真一は、今、別な意味で痛々しいしな

真一 さすが実紅

実紅 入院を括弧に入れる

真一 せや

実紅 痛みを括弧に入れる

真一 そうそうええ感じや

実紅 紹介するわ

真一 何？  
実紅 来て

女が近付く。

朋子 こんにちは

真一 こんにちは

実紅 朋子

真一 は？

朋子 はじめまして

真一 どうも

朋子 実はナンヨウ本線のミハラダイ駅の駅前なんですけど駅前に葬儀会館が建設されるんですね

真一 葬儀会館？

朋子 今、その葬儀会館建設反対の住民運動に参加してまして、ぜひその住民運動の応援歌を作っていただければと思つて

真一 住民運動？

実紅 朋ちゃん、大丈夫、この人、生き急いでないから

朋子 あ、すみません、順序立ててお話ししますね

真一 頼むわ

朋子 実紅さんの友人です

真一 はい

朋子 実紅さんに紹介されました

真一 はい

朋子 佐久間朋子と言います

真一 はい

朋子 はじめまして

真一 もっとテンポ上げても大丈夫やで

朋子 学生です。えっと短大の2回生です

真一 学生さん？一人暮らし？

実紅 それ関係あるん？

朋子 真一さん、バンドしてはるんですよね

真一 え？まあな

実紅 売れてへんけどな

真一 インディーズって言え

朋子 えーっとなんでしたっけ？

真一 何何

朋子 楽器は何してはるんですか？

真一 ベース

朋子 ベース？

真一 え？わからん？  
実紅 地味やからな  
朋子 すみません  
実紅 ベースの音ってな、よう聴いてんとわからんねん  
真一 そんなことないで  
朋子 あの・・ベースってどんな形してるんですか？  
真一 え？そこから？  
朋子 すみません  
実紅 ギターってわかる？おんなじ形  
朋子 そうなん。バイオリンの大きいやつ  
実紅 そうそう  
真一 まあせやな。ギターとおんなじ。ちよつとネックが長いかな  
実紅 地味なギターって覚えといたらええよ  
朋子 ベースはギターなん？  
真一 あのね、ギターより弦が少し太いんですよ  
朋子 弦？  
真一 弦って、あの、ヒモみたいなんついてるでしょ。いや喩えおかしいな  
実紅 針金  
真一 そう針金針金。その針金がね、ギターは6本なんですわ  
朋子 はい  
真一 ベースは4本なんですわ  
朋子 足りないんですわ  
実紅 せやねん足らへんねん  
朋子 かわいそうですわ  
実紅 かわいそうな人がベースやねん  
真一 あんな、マーカスマイラーって知ってるか？  
実紅 知らんわ  
真一 ジャコパストリアスって知ってるか？  
実紅 知らんわ  
真一 ベーシストの神様たちや  
実紅 全然有名ちゃうやん  
真一 めっちゃめっちゃ有名な人らや  
実紅 朋ちゃん知ってる？  
朋子 ジャコですか  
真一 あーえーっと。永ちゃん知ってますよね、矢沢永吉  
朋子 タオル巻いてる人ですよ  
真一 そう巻いてる。いつも巻いてる。何故か巻いてる。ファンも巻いてる。あの人、元  
ベース。キャロルのとき  
実紅 キャロル？  
真一 伝説のバンド「キャロル」

実紅 あのおっさん、楽器持ってへんやん  
 真一 おっさん言うな。(朋子に) だから「元」ベースですわ。永ちゃんはね、曲の間奏のとき、こんな動きするんですね(永ちゃんのマネ)  
 実紅 もつかいやつて  
 真一 こんな動き(タオルを巻いて、永ちゃんのマネ)サンバデイズナイー、サンバデイズナイー  
 実紅 似てるかどうかからんわ  
 真一 (永ちゃんのマネは続く)時間よ〜止まれ〜  
 朋子 ゴーゴ  
 真一 命の〜  
 朋子 ゴー  
 真一 めま〜いの〜  
 朋子 ゴーゴ  
 真一 中で〜  
 朋子 ゴーゴ  
 真一 (永ちゃんのマネは続く)スト〜ップザワ  
 実紅 ちよつと待つて  
 真一 今から一番気持ちええとこやんけ  
 実紅 朋子もライヴ行ったことないのに、無理せんでええから  
 朋子 あの自然と、言うてしまいました。身体動いて  
 真一 それがロケンロールです。くわしく言うたらロケンロールはロックとロールの要素があつて、リスナーの身体を知らん間に動かしたいうんはロケンロールのうちのロールの要素のほうですわ  
 朋子 ロールですか  
 真一 さすがボスのナンバーは色あせんな(と、矢沢のフリ)  
 実紅 これや(と、真一の指をさす)  
 真一 え(ストップモーション)  
 実紅 胸、かゆいんか  
 真一 胸  
 実紅 その動き  
 真一 さすが実紅。よう気付いた  
 実紅 何  
 真一 これが、ボスがベースストやつたときの名残や  
 実紅 それ何しとんねん  
 真一 (胸の辺りで指を動かして) 弾いとんねん、ベースを  
 実紅 は  
 真一 弾いとんねん、ベースを  
 実紅 ちゃんと弾きいな  
 真一 ちゃんと弾いてんねん、ベースを  
 朋子 人がテケテケ歩いてるところを表現してはるとか

真一 朋子ちゃん、テケテケって  
実紅 そんな弾き方されてベースはかわいそうやな  
真一 ボスやで、ボスがやってんねんで  
実紅 誰のボスやねん  
朋子 ベースってかわいそうなんですわ  
真一 いや、朋子ちゃん、ややこしい。話がややこしくなってきた  
実紅 ちゃんと話聴きな（と、真一の方を触る）  
真一 いたっ  
実紅 括弧に入れとんのやろ  
真一 痛ない、痛ない  
実紅 おりゃ（触る）  
真一 いたあ〜ない  
朋子 あの  
真一 え  
実紅 朋子ごめんね  
朋子 えなんで  
実紅 こやつは寄り道多いから  
真一 さしとんのは誰や  
実紅 経絡秘孔を何回もつくで  
真一 それやめて、カラダ爆発するから  
朋子 あの  
真一 ああこれ、漫画「北斗の拳」からの引用で、核戦争によって文明と秩序が失われて、残り少ない水や食料をめぐってあちこちで戦争やってんねん。それが舞台。暴力が支配する弱肉強食の世界に伝説の暗殺拳「北斗神拳」の伝承者ケンシロウが立ち上がる。アニメの主題歌は、「大都会」以降、低迷してたクリスタルキングの復活をかけた渾身の口ツクナンバー、「ユーはショック!」。なんでか、途中で子供バンドに変わったんですけどね、なんでか。ただうるさいからなんか  
実紅 まとめや  
真一 せやから「北斗神拳」という拳法は相手の経絡秘孔をつくんですわ。これで一発ですわ  
朋子 ヒコウ？  
実紅 それ専門用語  
真一 えーツボやな、ツボみたいなもん  
朋子 ツボを押す人ですか  
真一 せやなそんな感じや、ツボおしたら相手の体爆発すんねん  
朋子 ヤバイですわ  
真一 めっちゃヤバイ  
実紅 寄り道  
真一 大丈夫。朋ちゃん。言うて。今度はまっすぐしか見いひんから。受け止めるから  
実紅 それ余計言にくいで

真一 おいで。手すりから手え離して  
実紅 どんなシチュエーションにおんねん  
真一 うるさい、黙れ、知らん、集中  
朋子 あの  
真一 カモン  
朋子 永ちゃんって、昔の人ですか  
真一 何  
朋子 私、知らんかったから  
真一 永ちゃんは現役です。でも、今はそれええですから、永ちゃんのこととはあとでゆっ  
くり、今は本題を  
朋子 歌を作って欲しいんです  
真一 歌？  
朋子 曲を作って欲しいんです  
真一 曲ですか  
朋子 はい  
真一 はい  
朋子 はい  
真一 ほんなの？  
朋子 え？  
真一 どんな曲？  
朋子 それはもう真一さんにお任せしたいんですけど  
真一 ちよーっと待っててくださいね  
朋子 はい  
真一 ちよつと整理させてくださいね。俺、アホなんでひとつひとつ思考をつめていかな  
ダメなんですわ。目の前のことを必死で考えるタイプっていうか。真剣師って知ってま  
す？  
朋子 真剣な人ですか  
真一 ちやう  
朋子 え  
真一 いや惜しい。将棋指す人ですわ  
朋子 将棋指しですか？  
真一 そうそれ。将棋の名人は「百手先を読む」って言われてますけど、あれ、ホンマは  
ちやうんですね、「二手先を百通り読む」んですわ。あ、こんなこと考えてるから、アホ  
は自分で言い過ぎなんですけど。わかります、将棋？できます、将棋？  
朋子 将棋は少しだけやったことあります  
真一 強いですか  
朋子 オウテヒシャトリ  
真一 おっなかなかのスジでおますな  
実紅 寄り道や  
真一 整理していきますね。歌を作れと

朋子 はい、あの、お金は・あの・相場がわからないんですけど  
実紅 そんなんタダでええからね  
真一 おいおいタダより高いもんはないでえ。えーどんな歌？  
朋子 みんなの元気が出るような  
真一 応援ソング  
朋子 はい  
真一 葬儀会館ですよ  
朋子 はい  
真一 えーミハラダイでは今どんなことになっとるわけですか  
朋子 そうですね  
実紅 朋子、座り  
朋子 え  
実紅 ここ、真ん中  
真一 どうぞどうぞ

朋子、真一と実紅の間に座る。

朋子 あの  
真一 はい  
朋子 えーつと  
真一 ミハラダイですよ。知ってますよ。行ったことありますよ  
朋子 そうなんですか  
真一 あの辺、遊園地ってなかった？  
実紅 「ミハラダイ遊園地」。駅からちよつと離れてたけど  
真一 あれ？今ある？もうつぶれてますよね  
朋子 つぶれましたね  
実紅 もうだいぶ前に閉鎖になったで  
真一 いや「ミハラダイ遊園地」には行ったことないんですけどね  
実紅 そんな感じのデートせえへんやん、私ら  
真一 そんな話は今は置いといてええんちゃうか  
実紅 それも括弧か、括弧に入れるんか  
真一 いやだから後から。絶対。行くから。けが治ったらいろいろなとこ  
朋子 のどかな遊園地やって、休みの日には家族連れとか多かったですけど  
真一 赤字経営が続いて、遊園地を運営する会社が傾いた  
朋子 ホントに傾いたんですね  
真一 え  
朋子 ホントに。こう（「傾く」という身振り）  
真一 えーつと、どういふことかな？  
朋子 遊園地の真ん中へんにヒマワリの形した小さな観覧車があったんですね  
真一 はい

朋子 ホントにちよつと傾いてきたんです  
真一 それ危ないですね  
朋子 ジバンが弱かったんですね  
真一 ジバン？  
朋子 あの辺、砂が多いらしいんです  
真一 砂？  
実紅 砂の多い地質ってこと？  
朋子 砂浜の砂みたいなのが混じってるって  
真一 あの辺って山の方ですよ  
朋子 はい。だいぶん山ですね  
真一 砂浜っておかしいんちやいますか  
朋子 「赤エイ」って知ってます？  
実紅 赤エイ？魚？  
真一 変な形のやつや。尻尾の先っぽに毒針ついてて刺すねん。痛いらしいで。死んだ人もおるらしいわ  
実紅 それ横道に寄り道  
朋子 昔から変な話があつてミハラダイの地面の下に「赤エイ」が眠っているらしいんですね  
実紅 地面の下？  
朋子 めっちゃ大きねん  
真一 大きいってエイですよ  
朋子 土地の人に聴くと、なんでもコーシエンキュージョーくらいはあるらしいんです  
真一 そら大き過ぎますわ。最大のエイのマンタでもせいぜい8メートルくらいですよ。マウンドからホームベースでもいってへん。ビッチャーマウンドからホームベースまで18.44メートルですから  
実紅 なんでそんな知識を今披露しとんねん  
朋子 あの  
真一 はいはい  
実紅 「言い伝え」やね  
朋子 「言い伝え」？  
実紅 昔話っていうか  
真一 ああなるほど  
実紅 私も聴いたことある。「まんが日本昔話」でやってた。アニメの  
真一 常田富士男（ときたふじお）さんと市原悦子さんが声やってるやつやろ  
実紅 あー横からうるさい  
真一 あの番組、放送終わったやろ。なんでや。あれおもしろかったのに。味わいがあったわ。どうみても低予算やのになんで打ち切られたんやー  
実紅 無視無視  
朋子 えーっと  
実紅 なんかね、嵐で漂流した漁師が無人島見つけて上陸したんやけど、なんもなくて、

草木もなくて、人おらんくて、「誰もおらんわー」って言うてその島脱出したら、急に島ごと海に沈んだみたいな

真一 それ亀ちやうの

実紅 亀？

真一 大亀。亀の甲羅。椰子の木生えとる。そんなB級映画あったで

実紅 すでに朋子が「エイ」ってことで話ふつとるやろ

朋子 遊園地創るときも反対しはった人はいるって。私は好きやったんですけどミハラダ

イ遊園地

真一 なんで地面に埋まってるんですか？その化け物エイ。海の生き物でしょ

実紅 あれちやう

真一 どれ

実紅 ずっと昔からそこにおったんちやう

朋子 昔から？

真一 いつから？

実紅 ずっと昔。まだその辺が海やったときくらい

真一 海って、あのへん、めっちゃ山やで

実紅 そんなん関係ない

真一 なんで

実紅 日本がまだ日本の形してへん頃

真一 どういうこと？

実紅 まだ大きな陸とくっついてた頃

真一 ああなんか絵え見たことあるわ

実紅 こも全部、海やった頃

真一 そらまた大昔や

実紅 人がおるずっとずっと前からそのエイはおったってことかな

朋子 人がおらへんとき？

実紅 人が出てきて、初めは動物とか追いかけてて、石で包丁作って、土でお椀作って、しばらくしたら、お米作り出して、人、増えてきて、喧嘩したり、仲良くなったり、いろんな人がいろんな人に出会って、いろんな人がいろんな人と別れて、また人増えてきて、家がたくさん出来て、その家も鉄とかコンクリートになって、また喧嘩したり、また仲良くなったり、繰り返しして。いろんなところに人が住むようになって、今はエイやった？エイの上に電車走らせて、エイの上にマンション建てて、コンビニ作って、ユニクロ作って、マクド作って

朋子 ユニクロって何？

実紅 え？

朋子 マクド？

真一 ミハラダイに大きな自動車道、南北に通ってますよね

朋子 ジドウシヤドウですか？

真一 前のバイトに行くときの通り道やったんですわ。時々、バイクで走ってたんやけど、夜とか狐出ますよね

朋子 キツネですか

真一 ちょっと横道それたらもうダメですわ。知らん間におんなじとこぐるぐる回つとるんですわ。信号あつたなあて、コンビニあつたなあて、アコムの赤い看板さつきもあつたなあて。でも、どの街角も似てるから、ようわからんようになりますわ。迷子になりますわ  
ますわ

実紅 方向音痴やからや

真一 天は二物を与えへんかったわけやな

朋子 あの

真一 はいはい

朋子 ミハラダイは昔、地震があつたんです

真一 地震？

朋子 はい

真一 初耳ですわ

朋子 揺れたと思いますよ。けっこう。あの辺

やや問。

実紅 朋子

朋子 何

実紅 なんで住民運動してんの

真一 せやせや。まだ若いのに

実紅 年関係ないやん

真一 関係あるて。若いときは自分探しの旅に出てんねん。自分のことばかりや。なかなか人のために生きようなんて思わへん

実紅 真一はアラサーで、ほんで旅先で路頭に迷つとるけどな

真一 俺はロッカーや

実紅 なんの答えや。大きな荷物入れとんのか

真一 それは駅のロッカーや。それは駅のロッカーや。ロケンローラーは迷うんが仕事や。

いつも揺れとかなあかんねん

実紅 収入不安定でいつも大揺れや

真一 それも今は置いといてええんちやうか

実紅 それも括弧に入れるんか

朋子 主旨に賛同したからですかね

真一 シュシ？

朋子 葬儀会館建設反対

真一 あの、聞いていいかな

朋子 どうぞ

真一 基本的な質問なんですけど

朋子 はい

真一 なんで葬儀場建てたらいいかんのですか

朋子 はい

真一 今、流行ってますよね。新しい葬儀会館どんどん増えてますよね。バイク走らせたら、葬儀会館とおなじ数だけ見るんですね。葬儀会館建設反対の立て看板

朋子 ミハラダイも同じですね

真一 人の死亡率100パーセント。人はゼツタイ死ぬやないですか

朋子 そうですね

真一 えー真面目なこと言い出しますよ。(実紅に) かまへんか？

実紅 ええよ

真一 「死」を隠したらあかんのです

実紅 なんてなんですか

真一 えーなんでやる。「死ぬ」ってことを絶えず意識したら、一生懸命「生きる」ことができるんちゃうかな。あのね、けっこう大事故やったんすわ。高速道路で転んでもうて。今、生きてるんが実は不思議ですわ。けっこう自分の中では奇跡やと思ってるんです。せやから、これからは大事なもん大事にしていこうって。例えばね、身近な人が急に亡くなりますやん。いつも人は死ぬもんやって思ってたたら、ちゃんと向き合えるんちゃういます？ほんで乗り越えられるんちゃういます？

実紅 そうなんや

真一 真面目な話やこれ。言うたって

朋子 その土地の価値が下がるらしいですね

真一 カチ？

朋子 葬儀会館が穢らわしいからやないですかね

真一 ほら見てみい

実紅 何

真一 人は自分勝手や

実紅 たぶん、実際、土地の値段下がるねんで。それでめちゃうくちや困る人おるんちゃう

真一 建設反対の人も死んだら葬式するやろ。みんな葬式するやろ

朋子 あの

真一 なんですか

朋子 私の意見は少しちゃうんです

実紅 何

朋子 「自然」でええと思うんです

実紅 自然？

朋子 実紅、さっき言うてたやん。エイの上にいるんなものいっぱい建ったって

実紅 言うたよ

朋子 人が生活してますよね。人と人が関わりますよね。なんか盛り上がって、でも、寿命がきたら人は自然に死にますよね。死んだら自然に奥のほうに行くんですよ

実紅 奥？

朋子 人のいない奥のほうに行って埋葬される。自然に埋葬する場所が決まってくる

実紅 それは穢らわしいから？

朋子 それはちやうと思う

実紅 ちゃう？

朋子 はじめはそう思ってたけど、その場所はあるんな人が染み込んでめっちゃあったかい場所になるんやと思う。生きてる人はその場所の方を向いて思い出したり、挿んだり、足向けて寝えへんかったり、時々行つて、花、手向けたり、自然に、普通に。そうなつてきたんやと思う。いっぱい時間かかって。いっぱい人が来て、いっぱい人がいなくなつて、いっぱい人が思つて。そうなつていくんやと思う。静かやねん、その場所。太陽の光があつたかい。木漏れ日。地面もぬくい。落ち葉が布団のよう。冬は雪積もるんやけど雪ふわふわやねん。夏はシンとして気持ちいい。ヒグラシ鳴くねん。柔らかい風が吹いてんねん

実紅 ……

朋子 だから反対してるんです

真一 葬儀会館乱立は人が頭の中で考えただけやと

朋子 頭の中ですか？

真一 都市計画。机の上で図面ひくでしょ。住んでる人の生活の感じとか、体の感じとか考えんと図面通りに。人は頭で街を作られへんのですよね

朋子 セイカツですか？

真一 受け止めた。自然派や。人は生活を営んで、自然にしとかなあかんねん。エイは喩えや。自然の神様の喩えですよね。エイの上にそんなもん建てたらあかんてわけや。納得した。実紅

実紅 何

真一 朋子ちゃん、えらいな

実紅 ころころ意見変わる

朋子 なんですすか

真一 よう考えてる

朋子 そんなことないですよ

真一 そんなことある。なあ、実紅

実紅 ……

真一 なあ実紅

実紅 うるさいなあ

朋子 ホントの理由はクラブ活動みたいなもんですよ

真一 クラブ活動？

朋子 みんなで目標もつて、ひとつのもん追いかけて、頭、真っ白になつて

真一 そんなことないつて

朋子 えーそうですつて

真一 場所の話つてあれやん、昔のお墓つて村はずれのさみしいとこつてイメージやもんね

実紅 朋子

朋子 何？

実紅 聞いていい？

朋子 何？

実紅　なんで歌作って欲しいの  
朋子　・・・  
実紅　なんで歌なん？  
朋子　盛り上がる  
実紅　盛り上がるか？  
真一　歌は盛り上がるで。みんなひとつになれる。みんなで踊れんで  
朋子　歌は  
実紅　うん  
朋子　歌は理屈やないから  
真一　そう理屈やない  
実紅　どういうこと  
朋子　地面に染みていくから  
実紅　住民運動の応援歌ちやうん  
朋子　そうやけど  
実紅　聞いていい？  
朋子　何？  
実紅　なんで真一なん？  
朋子　なんで  
真一　俺のロックミュージシャンの才能に響いたんやな。噂なっとんねん  
実紅　有名ちゃうで  
真一　最近、YOUTUBEに曲アップしとる。この前、再生回数見た。いったい何回や  
　　と思つとるねん。ブレイク寸前や  
実紅　何回や？  
真一　39回や  
実紅　真一の歌、聴いたことあるん？  
朋子　・・・  
実紅　ええ加減やな  
真一　実紅  
朋子　真一さんは実紅のカレシやから  
実紅　ほんで  
朋子　カレシがバンドしてらつて。ええ曲作るつて。実紅から聞いた  
実紅　いつ？  
朋子　何？  
実紅　いつからやった？  
朋子　何が  
実紅　私ら  
朋子　え  
実紅　私らが友達なん  
真一　え？何の話？  
実紅　朋子、どこに住んでるんやった？

朋子 ミハラダイやけど  
実紅 ミハラダイに友達おらへん  
真一 実紅  
実紅 どこで私ら会うたんかな  
真一 なんかゲームしましよかね  
実紅 ゲーム？  
真一 ここで座って出来るやつ。三人出来るやつ。えーっと、古今東西、四文字熟語―  
実紅 私、忘れた  
朋子 ・・・・  
実紅 覚えてへん  
朋子 ・・・・  
実紅 朋子って名前の友達。知らんで  
真一 実紅、失礼やろ  
実紅 そんな友達、おらん  
真一 実紅が呼んできたんちゃうんか

朋子、ベンチから立ち上がり、二人に距離をとる。

朋子 実紅と会ってるよ  
実紅 どこで  
朋子 ミハラダイ遊園地  
実紅 行ったことない  
朋子 忘れてるだけ  
実紅 忘れてる？  
朋子 私の家はミハラダイ遊園地の観覧車やった。観覧車の鉄塔の真ん中辺に、私の「巢」があった。私は毎日観覧車に乗りに来る女の子のことを知ってた。上から覗いて、いつも女の子を見てた。ある日、巢から落ちてしまったことがあった。女の子が見つけてくれて、手でつつんでくれて、巢に戻してくれた。ある日、地面が揺れて、観覧車が傾いた。お父さんとお母さんが帰って来なくなった。ずっと帰って来なくなった。私は飛ぶことができひんかった。兄弟が4羽おった。兄妹たちも飛ぶことができひんかった。兄妹たちの命が順番に消えていった。私が最後やった。一人で巢の中でうずくまっていた。兄妹たちは私の横で砂になった。私は「かなしい」という言葉も知らんかった。長い時間経って、私も砂になった  
実紅 何それ  
朋子 実紅は小さな女の子やった  
実紅 それ私なん？  
朋子 ぬくい手、いい匂い。体に残ってる  
実紅 何？その話  
朋子 (真一に) これも「言い伝え」なんです。「ミハラダイ遊園地の観覧車のツバメ」  
真一 ・・・・

朋子 また来ます  
真一 え  
朋子 やっぱり、歌、作って欲しいんで

朋子は消えている。

実紅 真一

真一 何

実紅 ごめんね

真一 なんて

実紅 括弧、はずすわ

真一 ……

実紅 私、「ミハラダイ遊園地」好きやった。ヒマワリ観覧車が好きでいっつもママに乗せてもろてた

真一 うん

実紅 閉園時間が迫ってきてても、ずっとヒマワリ観覧車の前から動かへん、帰りたくないって、だだこねて、ほんで、一人になって

真一 うん

実紅 そのとき誰か横におったんかな

真一 誰？

実紅 手え、つないでたんかな

真一 残ってるで

実紅 え

真一 手のひらにぬくもり

実紅、自分の手のひらを見つめる。

真一 ギター、持ってきて。病室に立てかけてある。あと紙と鉛筆

実紅 なにすんの

真一 決まっとるやろ。発注されたんや

実紅 え

真一 アジテーションソングはちやうな

実紅 うん

真一 人生応援歌もちやうな

実紅 うん

真一 どんな曲を作るかやな

実紅 なんて歌なん？

真一 え

実紅 なんて歌なんかな

真一 歌は消えへんやろ

実紅 そうなん

真一 歌はコトバになる前のこととか、コトバにした後のこととか、含んでる気がするわ

実紅 ・・・・

真一 括弧に入れるゲームはおしまいや

実紅、立ち上がり、病室に行こうとするが。

実紅 真一のバイクの後ろに私乗ってた？

真一 何

実紅 真一、手え握って

実紅、真一に手を伸ばす。真一、実紅の手を握る。  
もう片方の手も。

実紅 真一、私の手え、忘れんといてな

実紅、消えている。

真一 実紅

公園に真一が一人。

終わり